

岩国市道路脱炭素化推進計画

令和 8 年 9 月

岩国市

目次

第1 道路の脱炭素化の目標

- 1 「道路管理分野」の目標
- 2 「道路整備分野」の目標
- 3 「道路利用分野」の目標

第2 目標達成に向けた道路の脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項

- 1 道路管理分野
- 2 道路整備分野
- 3 道路利用分野
- 4 ロードマップ

第3 その他計画の実施に関し必要な事項

- 1 脱炭素化施設等の設置

第 1 道路の脱炭素化の目標

1 「道路管理分野」の目標

(1) 「道路管理分野」全体の CO₂ 排出量

本計画における目標の基準年度となる 2013 年度の道路管理分野の CO₂ 排出量を示す。

表 1 道路管理分野における CO₂ 排出量

区分	CO ₂ 排出量
	2013 年度（基準年度）
1 道路関係車両からの CO ₂ 排出量	42t
2 道路照明の電力消費による CO ₂ 排出量	496t
3 道路設備・施設の電力消費による CO ₂ 排出量	115t
計	653t

(2) 「道路管理分野」全体の CO₂ 削減目標

本計画の「道路管理分野」全体における目標年度及び目標削減率は以下のとおり。

表 2 道路管理分野における CO₂ 削減目標

	2030 年度	2040 年度
CO ₂ 目標削減率	50%	73%
CO ₂ 目標削減量	327t/年	482t/年

(3) 「道路管理分野」の個別施策毎の CO₂ 削減目標

「道路管理分野」全体の CO₂ 削減目標達成に向けて、「道路関係車両の電動車化」、「道路照明の LED 化」、「再生可能エネルギー活用」により、2013 年度比でそれぞれ 2040 年度までに以下の通り CO₂ 削減する。

表 3 取組の実施による CO₂ 削減量

取組内容	各取組の整備指標			CO ₂ 削減量	
	2013 年度 （基準年度）	2030 年度	2040 年度	2030 年度	2040 年度
1 道路関係車両の電動車化	0%	64%	100%	5t/年	8t/年
2 道路照明の LED 化	0%	80%	100%	274t/年	391t/年
3 再生可能エネルギー活用	0%	40%	62%	48t/年	83t/年
計				327t/年	482t/年

2 「道路整備分野」の目標

道路整備分野のCO₂削減策として、「低炭素な材料の導入」、「ICT活用工事の推進」の取組を実施する。

3 「道路利用分野」の目標

道路利用分野のCO₂削減策として、「自転車の利用促進」、「渋滞対策の推進」の取組を実施する。

第2 目標達成に向けた道路の脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項

1 道路管理分野

道路管理分野のCO₂削減目標達成のための取組は、以下のとおりである。

(1) 道路関係車両の電動車化

ア 2030年度までの取組

2030年度までにパトロールカーおよび公用車の64%を電動車化する。

イ 2040年度までの取組

2040年度までにパトロールカーおよび公用車の100%を電動車化する。

表4 道路関係車両の電動車化

対象車種	2013年度 (基準年度)	2030年度	2040年度
パトロールカー および公用車	0%	64%	100%

(2) 道路照明のLED化

ア 2030年度までの取組

2030年度までに道路照明およびトンネル照明の80%をLED化する。

イ 2040年度までの取組

2040年度までに道路照明およびトンネル照明の100%をLED化する。

表5 道路照明およびトンネル照明のLED化率

取組内容	2013年度 (基準年度)	2030年度	2040年度
道路照明LED化	0%	80%	100%
トンネル照明LED化	0%	80%	100%
合計	0%	80%	100%

(3) 再生可能エネルギー活用

ア 2030年度までの取組

再生可能エネルギーを活用した電力の調達を行うことなどにより、2030年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を40%にすることを目標とする。

イ 2040年度までの取組

再生可能エネルギーを活用した電力の調達を行うことなどにより、2040年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を62%にすることを目標とする。

表6 調達電力の再生可能エネルギー比率

2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
0%	40%	62%

2 道路整備分野

道路整備分野の取組は、以下のとおりである。

(1) 低炭素な材料の使用

低炭素（中温化）アスファルトや低炭素コンクリート等、低炭素な材料の使用を検討する。

(2) ICT活用工事の推進

ICT活用工事を推進し、建設現場の作業効率向上を図ることで道路の建設及び修繕工事に使用する建設機械におけるCO₂排出量の低減を目指す。

3 道路利用分野

道路利用分野の取組は、以下のとおりである。

(1) 自転車の利用促進

県の「やまぐち自転車活用推進計画」に基づく取組と連携・協力し、交通における自動車への依存の度を低減させることにより、CO₂排出量の削減を目指す。

(2) 渋滞対策の推進

主要渋滞箇所における渋滞対策（交差点改良やピンポイント渋滞対策等）やTDM（交通需要マネジメント）を国、県、県警察等関係機関と連携して実施し、道路交通の適正化を図ることにより、CO₂排出量の削減を目指す。

4 ロードマップ

1 から 3 に記載記載した取組毎に、実施時期をロードマップとして示す。

表 7 岩国市の脱炭素化に係るロードマップ

取組分野	取組内容	2027 年度	～2030 年度	～2040 年度
道路管理分野	道路関係車両の電動化	計画に基づく電動車への置換		
	道路照明の L E D 化	L E D 道路照明への交換・導入		
	再生可能エネルギー活用	再生可能エネルギー活用の検討及び推進		
道路整備分野	低炭素な材料の使用	使用検討（低炭素（中温化）アスファルト、低炭素コンクリート等）		
	I C T 活用工事の推進	I C T 活用工事の推進		
道路利用分野	自転車の利用促進	県の「やまぐち自転車活用推進計画」に基づく取組と連携・協力した自転車利用の促進		
	渋滞対策の推進	主要渋滞箇所における渋滞対策や T D M（交通需要マネジメント）を国、県警察本部等関係機関と連携して実施		今後検討

第3 その他計画の実施に関し必要な事項

1 脱炭素化施設等の設置

民間等による道路占用制度を活用した脱炭素化施設等の設置について、交通安全や周辺環境への影響に配慮しながら設置の許可を検討していく。

設置を想定している脱炭素化施設等及びその用途については、表8に示すとおりである。

表8 設置する脱炭素化施設等

施設	用途
太陽光発電設備、風力発電設備	道路管理施設への電力供給等
E V 重電機器、E V 充電施設	E V 自動車の利用促進等
水素供給施設	水素自動車の利用促進等
シェアサイクル器具、 シェア電動モビリティ器具	自転車の利用促進、電気を原動力とする 原動機付自転車の利用促進等